

# ぼんぼり山便り

2007年9月から「緑の募金」から助成を受け、「緑の募金公募事業」として森林整備活動に取り組んでいます

毎月第一土曜日、第三日曜日 10時～15時位に活動中です。

第37回定期活動の報告・中の森  
(11月1日 第一土曜日)

・参加者 26名

### 【森林整備】

・今日は、若い労働力を期待している。某世

界的半導体メーカーから、3名の男性が2名の

一環として初めて参加している。加えて、2度

目の参加、環境ボランティア活動に関心を持つ

という男性大学生1名が森林・竹林整備に参加

となった。山主さん

のご意向により、植

林場所に侵入した竹

を除去するのである。

初めての方々の指導

は大ベテランの会員

にお願ひし、若手

(?)会員と共に杉

の除伐を行うため、

山へ入る。しかし、

除伐対象木は竹林に

隣接し人のいない安

全な場所には見当た

らない。安全第一がモットーのため、ボサ刈り

をしつつ、竹林整備を一生懸命行う姿を山の

部から拝見させていただく。

・いいなあ、30〜40代はエネルギーが豊富だ

なあ。黙々と無心にのこぎりを使っている様子が見え

る。ボランティアは、やっている本人が気持ち

良さを感じる不思議な行為。そして、他人に優

しくなれる体質を作ってくれる。ちょっと自慢

するが、我が会員は、皆、優しい人達ばかりで

ある。この不思議な活動に興味がある方は、参

加をお待ちしています！と本日は、宣伝にて筆

を置かせていただく。

〔下段へつづく〕



### 【竹林整備】

・今回で3回目になる竹林除伐だが、毎回

作業前とは変わる光景を確認しながらも、

全体を見回せばまだまだやる所は十二分に

あるといった状況。終わる度に、来月もや

らないとダメだねと

なっている。

・さて、今回で竹林

除伐作業を終わらせ

ることが出来るだろ

うか？。幸い数名の

初心者の方が参加し

てくれていたので、

是非竹林へと誘ひ込

む。切つては処理し、切つては処理しを繰

り返し、さすが3回目。どんどん竹林同士

の間隔が空き、視野に奥行きが出てきたの

がわかる。子供用の傘なら全部広げて歩け

るくらいにはなったんじゃないかな。

・しかし、竹も木と同様、適当な長さに切つ

て地面に横にして重ねて片づけていくのだ

が、中には直径10cmを超える立派な竹も

ある。太くなくても量がたくさんある。もっ

と短く切れば木より断然軽し、なんか良

い使い道はないだろうか・・・。

・さ、これで竹林は終わりになるか？うー

ん、微妙。終わり？ほぼ終わりに近づいた？

あとちょっとだけ？ちょっと心残り？

【道作り班】

・あと少しだった旧道とのドッキング

も、午後の作業が始まってほどなく完成

した。作業を始めて2日目。スピード開通だ。

どのくらいの距離か測ってみる。炊事班の

オネエチャンが歩幅で測る。それによると

約5メートルと出た。測ってみると意外と

短い。足の長さに問題はないのだろうか。

〔下段へつづく〕



次に道の命名だ。発注主の会長は「圏央

道だ」と。「圏央道」。。しかしよく考

えてみるとあながち的外れな命名ではない。

このぼんぼり山は複数の山主さんが、頂上

に向かって縦に山林を所有している。その

ため上に向かつての道はあるが、横に結ぶ

道がない。山の地図を頭に描けばまさに圏

央道だ。最初に竹林に作業に行った時は途

中まで上にあがり、馬の背になったところ

を乗り越えて急斜面を下る。そんな難儀を

伴う行程も、この道で簡単に往復できるよ

うになったのだから、あたかも渋滞を避け

て遠回りしていたのが圏央道の開通で一気

に渋滞解消になったようなものだ。さすが

依頼主。目の付けどころのスケールが大き

い。しかし、最終的に命名されたのは「竹

のこみち」。「こみち」としたのは

訳がある。もっぱら食い気派の人は「タケ

ノコ道」を、文芸派を自認する人は「竹の

小径」をイメージ。それぞれのイメージの

共通点ということで「竹のこみち」とあい

なった。発音のイントネー

ションでどちら派かわか

るはずだ。しかし〇〇組

の労働問題に関心を向け

る人のことも無視できな

い。正式名称は「竹のこ

みち」だが、俗称「孫請

け街道」ということになっ

た。西側の竹林と東側の竹林を結ぶ約50メー

トルの道もこの日をもって完成。それに伴

い、道路建設という公共工事も終わり、〇

組の下請けのシャチャョー、孫請けのオジ

サンはこの日をもって解雇され、ほんの少

し、土産話だけをもって、さみしく山をく

だり、家族の待つ故郷に帰っていった。



# ぼんぼり山便り

2007年9月から「緑の募金」から助成を受け、「緑の募金公募事業」として森林整備活動に取り組んでいます

毎月第一土曜日、第三日曜日 10時～15時位に活動中です。

## 第37回定例活動の報告・中の森

(11月1日 第一土曜日)

・参加者 26名

・活動に参加して(2回目)の感想；

高田 裕己(大学生)

・今回は9月に参加したときに引き続き竹林整備を行った。

一応2回目という肩書きを持って作業に臨んだのだが、2ヶ月というブランクは私の頭の中から竹の伐り方を忘れさせるのに十分な時間であった。危うい記憶を頼りに自己流でやっているところ、1点2点と大先輩にご指摘をいただいた。しかし、前回よりは明らかに作業のスピードは増し、午前中はまだ体力が有り余っていたこともあり、良いペースで竹を倒していくことができた。

昼休み。楽しみにしていたお味噌汁をいただく。

一人暮らしをしている者にとつて、こんなに具だくさんでおいしい汁物にありつける機会はめったにないので本当にありがたい。



午後からは久しぶりに運動をしたことから来る疲れと昼食後という時間帯から来る眠気により格段に作業ペースが落ちた。しかし、一番若い自分が弱音を吐いてはいけなれないと思い、最後まで作業に集中するよう頑張った。

・作業を終えて、朝とは明らかに違う光景がそこにはあった。前回参加時は竹林整備が1回目だったということもあって、作業終了時にも辺りにはまだ多く竹が残っていたが、今回は作業をした周辺一体からはほぼ竹はなくなり、光が地面に届くようになっていた。竹林整備をしたのだという達成感を感じることができとても満足であった。

〔下段につづく・・・〕

・最後にこのぼんぼり山の会では普段の生活とはかけ離れた自然の中で、自然を肌で感じながら楽しく環境保護の運動をさせていただき、本当に良い経験になっている。竹林整備もあと少しとなり、第1回目に参加できたことも何かの縁だと思おうので最後の作業にも是非参加できたらと思う。よろしく願います。

文：ホームページより





# ぼんぼり山便り

2007年9月から「緑の募金」から助成を受け、「緑の募金公募事業」として森林整備活動に取り組んでいます

<http://members2.jcom.home.ne.jp/bonbori/>

活動報告の詳細等は、ホームページにて...

## 第38回定例活動の報告・東の森

(11月16日 第三日曜日)

・参加者 41名

・本日は柚子の収穫作業。初めて体験した昨年と違い明らかに今年是不作と分かっていたので「昨年のように収穫の喜びを味わうことはできないと思いますよ」とアナウンスしておいたにもかかわらず、雨模様の中、昨年も参加された方々を含め2名が集まった。午前中は雨に邪魔され柚子収穫はお預けとし竹林の整備に切り替えた。昼食時には仲間が作った具沢山の豚汁が振舞われ大好評。この間に幸いにも雨が上がり、午後からはお待ちかねの柚子の収穫作業を行い約400kgを収穫運び下ろした。

・今回の活動報告は、参加者からの感想文をもって代えさせていただきます。

【柚子もぎボランティアに参加させていただいて】

・今回、私ははじめて『ぼんぼり山の会』の活動に参加させて頂いたのですが、参加させて頂いての感想を一言で表現すると『充実感』そのものでした。

・当日は雨模様...

雨の日に柚子をとると後処理が大変らしく、ひとまず様子見ということで、私達は予想外(!!!)の竹切りにいきました。

・竹を切り倒す時の気持ち良さは経験しないと分からない爽快感がありました。

〔下段につづく...〕



・午後はお待ちかねの柚子もぎです。でも意外と大変でした... するどいトゲがあらちちから出ていて安易に奥まで取りにいけないのです。

・私は初めて柚子の木を見たのですが、そのトゲのするどさに圧倒されるばかりでした。途中で会員の方が内緒で味見をさせてくれました。すっぱさの後からくる爽やかな味が忘れられません。

・今年比去年に比べ不作とのこと、でもトラックにいっぱい柚子を収穫することが出来ました。

・そして作業終了後、会長さんからお話をいただきました。この柚子畑の持ち主の方は高齢で収穫をする事が困難になってしまった為、『ぼんぼり山の会』の方々が手伝いをされているということでした。

私はこのお話を伺って、感慨深く、このような有意義な活動をいつも行っている皆さんに強く感銘をうけました。

・私達が収穫した柚子は柚子ジュースとなり、五日市の温泉施設の一角で販売されるようです。

土産も沢山頂きました、お昼に頂いた『とん汁』も美味しかったです。

みなさんの暖かさに心がリフレッシュされた二日でした。

ほんとうにありがとうございました。



## 【ボランティア活動に参加して】

・部署の上司より柚子もぎをしないかとお誘いいただき、今回参加させていただきました。私はそれまでボランティアなどの活動に参加したことはありませんでしたが、他のメンバーの方々に丁寧に指導いただきました。

当日行なった作業として、午前中は竹お切りをしました。竹切りはのこぎりを用以て切りますが思ったより簡単に竹が倒れることに感動しました。また竹がバサーッと音を立てて倒れる瞬間はとても爽快でした。

・お昼ご飯には豚汁をいただきました。現地で採れた柚子のスライスを入れていただきましたが、あの香りは今でも忘れません。持参していた弁当が食べられなくなるくらいにだいてしまいました。

・午後は柚子もぎをしました。といっても実際に柚子をもいだのは10分程度で、あとは集まった柚子を山の下に運んでいました。初めは大変でしたが、コツを掴んだら楽しかったです。

帰る際にはお土産としてもぎたての柚子をいただき、またもいだ柚子を絞ったジュースをお土産に購入しました。3本購入したので、周りの人に味わってもらおうと思っています。

最後になりましたが、一日ボランティア活動に参加させていただき、想像以上に充実した日を過ごすことができ、感謝しております。ありがとうございました。

：ホームページより

